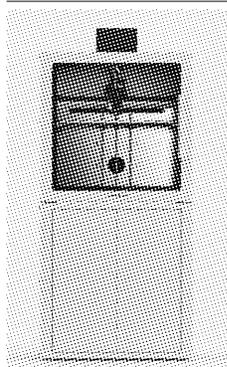


筐体部品を内製化

グーテンベルクが新工場 3Dプリンター

グーテンベルク（東
京都大田区、李丞株社
長）は、自社製品の3
Dプリンターに使う金
属部品の工場を新設す
る。大田区内に設けて
10月に稼働する。外注
していた部品を内製化
してリードタイムを短
縮し、部品精度も向上
して開発力強化につな
げる。2028年度ま
でに3Dプリンターの
販売で年間1000台
（24年度は150台の

見込み）を目指す。ま
た工場新設に併せて他
社からの受託加工事業
にも乗り出す。
グーテンベルクは3
Dプリンターのベンチ
ャー。大型の樹脂部品
を高強度・高速で造形
できる技術などを有す
る。
金属部品工場は大田
区内の空き工場に開設
し、5軸マシニングセ
ンター（MC）や複合
加工機、3次元測定機



などの最新設備を導入
する。自社の3Dプリ
ンター向けにアルミニ
ウムフレームなどの
筐体部品を製造す
る。総投資額は約4億
円。東京都の補助金を
活用する。
これまででは切削部品
減に加えて、品質にバ
ラツキのあ
った海外製
部品などが
ら切り替え
ることで、
3Dプリン
ターの内製化により、
3Dプリンターの生産
能力は現状比で30%増
える見込み。
高騰する外注費の削
減に加えて、品質にバ
ラツキのあ
った海外製
部品などが
ら切り替え
ることで、
3Dプリン

ターの性能向上や長寿
命化が期待できる。本
社内の組立工場と連携
し、品質管理業務の効
率化も図る。
また他社からの受託
加工事業に参入する。
自社製品向けで使わな
い時間帯を有効活用
し、投資費用の回収を
早める。提携先で、旋
盤加工を手がける極東
精機製作所（東京都大
田区）と営業面でシナ
ジーを発揮し、あらゆる
金属加工ニーズに対
応する。
グーテンベルクは21
年の創業で、23年8月
に大塚化学（大阪市中
央区）と資本提携し、機
器と材料の共同開発を

進めてきた。協業の成
果として、大型の樹脂
部品を高強度・高速で
造形できる新型3Dプ
リンター「G-ZER
O L11写真」を7
月1日に発売する。